

科目	医療・福祉支援学	担当	加藤 憲	履修学年	2年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

慢性期疾患を抱えた患者が増える中、急性期疾患への治療を中心として構築された医療システムの変革が求められている。旧来の医療システムは、患者を日常生活から隔離し治療するシステムといえるが、これからは生活とともにある医療システムの構築が必要となる。そのために、医療と生活を基盤とした福祉を結ぶ医療ソーシャルワーク実践に必要な知識と方法を理解し、説明できるようになることを目標とする。

【履修注意】

講義中の私語など他者への迷惑行為は、一切認めない。また、そのような行為は受講態度として、減点対象とする。さらに、1回の講義中に3回注意を受けた者には、退室を命じる。その際は、欠席扱いとする。

【評価方法】

試験(70%)と受講態度(30%)により評価を行う。試験は、習得した知識や自らの考えを、論理的に述べる事ができるかを評価する。また、受講態度の評価は、積極性と出席回数(4回以上欠席は減点対象)による。

【試験について】

8回目「まとめ」の確認と期末試験は、筆記試験を実施する。

再試験対象者の条件：学則に拠る

【予習・復習】

知識の定着のために講義後に復習を行うこと。また、講義時に指示した文献を読み理解を深めること。

【教科書】

購入教科書なし

【参考書】

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	オリエンテーション	オリエンテーション
2	医療福祉の基礎概念	医療福祉、ソーシャルワーク
3	医療福祉を取り巻く背景	医学と医療、社会福祉、医療福祉
4	医療ソーシャルワークの歴史	医療ソーシャルワークの歴史
5	患者と家族の理解Ⅰ	病気の社会的・心理的影響、患者理解、患者への支援
6	患者と家族の理解Ⅱ	患者家族への対応
7	医療ソーシャルワークの倫理	小児医療、精神難病、終末期医療
8	まとめ	7回までのまとめと確認
9	病院の機能と組織Ⅰ	特定機能病院、急性期病院
10	病院の機能と組織Ⅱ	慢性期病院、介護施設、地域医連携病院
11	医療福祉と連携	多職種連携、チームワーク
12	医療ソーシャルワークの視点Ⅰ	医療保障、HIV感染、女性、がん医療
13	医療ソーシャルワークの視点Ⅱ	リハビリテーション、認知症、高齢者、小児
14	医療保障制度	医療法、保健医療従事者、医療保険制度、社会福祉各法
15	医療福祉の今後の課題	医療の変遷、直接的支援、組織と地域
16	期末試験	15回の復習・確認・総まとめ